

# りあん支援プログラム

事業所名	りあん目尾教室	種別	放課後等デイサービス	作成日	R6 年 2 月 1 日
法人（事業所）理念	<p>こどもたちが持つ能力や可能性を最大限に伸ばす療育を目指します。</p> <p>1. 共育 一人ひとりの個性を大切に障がいや発達の違いが気になるお父さま達と「共に学び」「共に育つ」共育の場を創造します。</p> <p>2. 夢 地域社会との繋がり、生活力の向上を第一に誰もが夢や目標を持ちそれらに向かって一歩踏み出せる組織創りをします。</p> <p>3. 貢献 地域福祉の向上と様々な児童福祉のニーズに対応するべく関係機関と連携し地域福祉の推進に貢献します。</p>				
支援方針	自立（自律）を目標として、行動とは別に日常の中で生活スキル向上を図ることで、出来ることを1つずつ確実に増やしていきます。				
営業時間	10 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし		
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>周りの助けのある中で自分らしく生きる事、自分で決めて、考えてやり遂げようとする事を目標とし、自立（自律）に向けての支援を行っています。</p> <p>具体的には、身の回りの整理整頓や衛生上の清潔感を保つこと、毎日の生活リズムを整える事を児童本人と保護者共に情報共有、支援を行っています。</p>			
	運動・感覚	<p>全ての行動の基本となる体幹を日常生活、活動で少しずつ鍛えられるような運動、遊びを提供していきます。</p> <p>児童本人が持っている感覚（声の大きさ、色の見え方、耳の聞こえ方等）と一緒に確認することで、集団生活での過ごしやすさへの改善点を考察します。</p> <p>声の大きい児童は耳の聞こえ方にもつながってくるため、視覚的な物を用いて声の大きさの確認をしたり、実際に声を出してみても大きさを調節して行ったりしていきます。</p> <p>色覚障がいや弱視などがある児童にはビジョントレーニングで、追視や色の確認、見分け方など補助的な部分で感覚を養う支援を行って行きます。</p>			
	認知・行動	<p>巧緻動作や空間認知などで、指先の感覚に刺激を与えて脳を活性化させたり、対人・対物の目に見えない距離感等を掴めるように感覚を養っていきます。</p> <p>また、様々な活動の中で経験を積んだり、情報共有をしたりすることで幅広い知識を増やしていきます。</p>			
	言語コミュニケーション	<p>言葉の使い方や意味の理解力を深める、コミュニケーションをとるうえでの物理的な距離感・心理的な距離感を掴む、言葉のキャッチボールが出来るように相手からの言葉に対する返し方などをソーシャルスキルトレーニングや、グループセッションなどの活動を通して学び、日常に実践できるように支援していきます。</p> <p>感覚からも視覚からも学べるように絵を使ったり、活動の中で実践したりします。また、そこから言葉のレパートリーを増やしたり、様々な知識を身に付けたりして、円滑に人とのコミュニケーションを取ることが出来るように支援していきます。</p>			
	人間関係社会性	<p>日常の中からおもちゃを使って遊ぶ、公園に行き一緒に体を動かすなど共に時間を過ごして喜怒哀楽を味わって人間関係を良好に保つ方法を考えることができるように、その状況や場を提供していきます。また、自己の理解と行動の調整ができるようにソーシャルスキルトレーニングで自身の気持ちや日頃の行動を見つめ直す時間を作ったり、ストレスや感情をコントロールする方法と一緒に学んだりしていきます。</p>			
家族支援	連絡帳や送迎の際にヒアリングや情報共有を行い、児童本人と保護者共に円滑な生活を送ることが出来るように助言や情報提供などの支援を行って行きます。	移行支援	身だしなみを整える事や挨拶、コミュニケーションをとるうえでのマナー、物事に対する集中力などから身に付けていき、自分で出来ることを増やしていきます。		
地域支援・地域連携	公園やプールなどの公共施設を活用し、施設外の方々との関りを積極的に促していきます。	職員の質の向上	職員が円滑の働くことが出来るよう、休み時間などには和気あいあいと会話を楽しんだり、それぞれの得意不得意をお互いにサポートしていきます。		
主な行事等	クリスマス会・避難訓練・ハロウィンパーティー・おでかけ・食事会				